

ディスプレイソリューション事業、オプティカルソリューション事業



上席執行役員
脇山 恵介

「ディスプレイ・光学部品業界にイノベーティブなソリューションを提供し、デジタル社会に貢献する」というミッションのもと、ディスプレイソリューション事業においては「ディスプレイ材料市場におけるリーディングカンパニーの地位を堅持する」こと、オプティカルソリューション事業においては「樹脂・フィルム開発・加工技術を中核に光学部品市場でのゲームチェンジャーとなる」こと、をビジョンとして事業運営を進めています。

● 主要な製品の紹介



LCD材料 OLED材料 耐熱透明樹脂
ARTON® ARTON®
光学フィルター

● 強みと事業環境認識

事業の強み

- 高シェア製品の保有と幅広い製品ラインナップ
- 市場・顧客ニーズに対応した
営業・開発・製造体制と事業インフラ
- 高分子技術、加工技術をベースに培った
ソリューション提供力、高い品質競争力

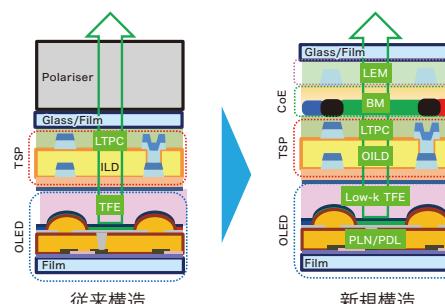
事業環境認識

- TVの大画面化やIT/スマートフォンの高機能化に加え、車載用途、パブリックディスプレイ用途、AI対応などのアプリケーション拡大や、省エネ・PFASフリーといった環境対応に牽引され、デジタル社会に必要不可欠な製品として、ディスプレイ材料市場・光学部品材料市場は継続的に拡大します。両事業における主要な事業環境認識は次の通りです。

● ディスプレイソリューション事業

ディスプレイパネル市場は引き続き中国が中心となる見通しです(中国比率 = 2020年度:55%→2029年度:78%)。また、ディスプレイパネル面積市場規模は中長期的にもLCDが主流を維持することが見込まれています(LCD比率 = 2020年度:95%→2029年度:90%)。今後高成長が期待されるフレキシブルOLEDパネルは、スマートフォン向けに加えてIT用途への搭載が本格化します。加えて、省エネ、薄型化、フォルダブル、アンダーディスプレイカメラ(UDC)、PFASフリーといったニーズ拡張に伴い、パネルの構造変革が進展中であり、高機能材料需要の拡大が期待されています。

モバイル向けOLED材料



● オプティカルソリューション事業

TV大画面化に伴い、TAC(トリアセチルセルロース)より、光学特性・耐吸湿性に優れるCOP(シクロオレフィンポリマー)製位相差フィルムの需要が近年急増しています。また、スマートフォン市場においては、カメラ高性能化に伴うセンサーサイズの大型化により、樹脂製フィルターニーズがさらに拡大する見通しです。光学関連材料市場においては、今後スマートフォン顔認証・車載・ウェアラブル・AR/VRなどの様々なアプリケーションで、センシング用フィルター需要の拡大が期待されています。

● 2024年度の振返り

ディスプレイソリューション事業は、事業再編(韓国・台湾市場でのカラーフィルター材料事業撤退、台湾製造工場閉鎖、中国市場の事業インフラ強化)を通じ、事業の選択と集中を実行してきました。LCD材料については、主力の中国市場において、配向膜・絶縁膜などの競争力のある製品を中心に拡販を進めました。また成長市場であるフレキシブルOLED用材料については、LCD材料で培った事業インフラと低温硬化等のコア技術を活かし、韓国・中国市場で拡販を進めました。この結果、売上高と営業利益は前期を上回りました。

オプティカルソリューション事業は、TV大画面化に伴う位相差フィルム向けARTON®樹脂の需要拡大に加え、スマートフォンカメラ用光学フィルター(NIR^{※1})で、より高機能な新規戦略製品の有償販売を開始したことにより、対前年で収益性が大幅に改善しました。

※1 Near InfraRed(近赤外線カットフィルター)

● 中長期の戦略



ディスプレイソリューション事業とオペティカルソリューション事業の、高いシェアを持つ製品群と幅広い製品ラインナップにより、現在日々製造されているディスプレイパネルの2台に1台に、JSRが開発・製造・販売した何らかの材料が搭載されています。我々は、世界中の多くの消費者の手にJSR製品をお届けしている、という誇りと責任感を持ち、ONE TEAMでミッションとビジョンの達成に向けて邁進していきます。

各事業の戦略については以下の通りです。

● ディスプレイソリューション事業

中国事業インフラ強化:ディスプレイパネルの中心である中国市場において、顧客対応と意思決定の迅速化を目的に四つの現地化^{※2}を進めてきました。引き続きVOCの把握とソリューションの早期提供、および顧客とのエンゲージメント強化に努めます。

LCD材料成長戦略:中長期的にパネル面積の主流を占めるLCD材料においても成長戦略を推進します。当社はLCDパネル製造プロセスの主要3工程である、アレイ工程(絶縁膜)、カラーフィルター工程(保護膜)、セル工程(配向膜)において、各材料ともに50%を超える高いシェアを有しています。強固な事業インフラに加え、ソリューション提供力と高い品質競争力、加えて低温プロセス材料・PFASフリー材料展開や、台湾で進めている配向膜リサイクル事業などの、Eco-Friendlyなソリューション提供により、シェア拡大に取り組みます。さらに顧客から要請の高い、光IPS用配向膜の本格参入を推進します。

OLED材料成長戦略:フレキシブルOLEDパネルの構造変化に対応した高機能材料需要が今後大きく拡大します。LCD材料で培った事業インフラと、絶縁膜や低温材料技術などの差別化技術を活用し、OLED材料市場においても韓国・中国市場においてNO.1の地位獲得を目指します。既に低温絶縁膜、光取り出し材料でシェアNO.1を獲得しており、低誘電薄膜封止材料、高透過・PFASフリー・バングル材料/平坦化材料などでポートフォリオ拡大を目指します。

※2 ①事業HQの上海移管・②営業現地化(上海HQに加え、北京・重慶・成都・合肥・福州・深圳・広州に8つの営業拠点を設置)・③製造現地化(LCD/OLED材料の主力製造拠点である韓国・九州拠点に加えて、2018年より中国・常熟で現地生産を開始)・④技術サービス現地化(上海にラボを設置し、中国人R&D員による中国語でのF to F技術ディスカッション、パネル不良分析、共同実験 & 共同研究など幅広いサービスを提供)。

● オペティカルソリューション事業

ARTON®樹脂成長戦略:急増するCOP位相差フィルム需要に応えるため、ARTON®樹脂の生産能力拡大に注力します。また、ARTON®樹脂の直接の顧客である位相差フィルムメーカー、ディスプレイソリューション事業で強固な関係を構築してきたパネルメーカー、および当社との協業によるシナジー発現を推進し、最適な業界サプライチェーンの構築に寄与していきます。

スマートフォンカメラ用光学フィルター成長戦略:当社は世界で唯一、高品質な樹脂製フィルターを量産供給できるメーカーであり、競合となるガラス製フィルターに対して、薄さ・軽さ・割れにくさ、などの特性が顧客に評価され、韓国・中国の大手スマートフォンブランドで採用が進んでいます。今後も高機能化が求められるスマートフォンカメラ用NIR市場において、差別化できる原材料から最終製品までの全工程に係るフィルム開発・加工技術をコアコンピタンスとし、光学部品市場におけるゲームチェンジャーとなることを目指します。

センシング用光学フィルター成長戦略:拡大するセンシング用フィルター市場に向けて、複数の顧客と各種テーマが具体化しています。樹脂およびフィルム開発・加工技術を生かし、センシング市場への本格参入を実行し、ARTON®樹脂、スマートフォンカメラ用NIRに続く、オペティカルソリューション事業の第三の柱に育成します。



※ARTON、アートンはJSR株式会社の登録商標です。